

【コラソン（放課後等デイサービス）の支援方針】

「あそび」を通じて、自分らしく成長♪

健康・生活、運動・感覚、認知・行動、言葉・コミュニケーション、人間関係・社会性

《本人支援の5領域》に沿った様々な楽しいプログラムの中で、

『あそび』を通じて、ルールやマナーなど社会スキルの向上を目指していきます。

また、個別支援により、子どもたちが将来、社会生活を円滑に営むために必要な支援を行います。

人と人が関わるとどんな瞬間にも学びの機会があると考え、

私たちは一人ひとりのこどもたちの個性に寄り添い支援する事を心がけています。

～プログラム一例（お菓子作り）～

①運動・感覚

スポンジケーキ、フルーツをつぶさないように包丁やすけっばーを使い適度な力加減を試行錯誤することで手の動かし方の感覚を学ぶ。



②人間関係・社会性

班の人数分を公平に分けるためにどうすればいいだろう？

相談を重ねて、集団の中で自分の気持ち、相手の気持ちを考える重要性に気づく。



⑤認知・行動

ホイップクリームの上に、好みのフルーツをそれぞれの考えで飾りつけをしていく。自分だけのケーキを作っていく過程で自由な発想や表現する楽しさを感じる。

③健康・生活

自分たちの食べるものには、何が入っているんだらう？

食材のパッケージを見て、食べる頻度や量を考えてみる。好奇心から、食育への興味につなげていく。

～お菓子作りのプログラム～

スポンジケーキを人数分に切り分け。
ホイップクリームを泡立てたり、フルーツを切り分け、材料をデコレーション。
完成したら、みんないただきます♪

④言葉・コミュニケーション

ホイップクリームの泡立て機は班に一本だけ準備。

「順番に使おう？」 「あと何分で交代ね！」

「小さい子にも使わせてあげようよ！」

スタッフも介在し、場面にあった声掛けを考えながら、円滑なコミュニケーションに触れていく。